

満6か月になったら、日本脳炎ワクチンの接種を受けましょう

2015年夏、千葉県内では25年ぶりに、日本脳炎の患者さんが発生しました。

患者さんはなんと、1歳未満の乳児。

当時、一般のニュースでも報道されたので、覚えていらっしゃる方も多いことと思います。多くのこどもたちと接する立場の小児科医としても、とても心配なことです。

日本脳炎のワクチンは、標準接種年齢が満3歳以上となっているため、3歳未満で接種する子はまれです。みなさん、満3歳になるのを待ってから、きちんと接種されているのが現実です。この患者さんも当然、未接種でした。

ところがじつは、日本脳炎のワクチンは、積極的な接種勧奨はされていなくても、満6か月から受けることができます。当院でもこれまで、保護者の方からのご希望があれば接種をしてきましたが、人数はそう多くはありません。

昨年の乳児患者発生があった以上、満6か月になったら日本脳炎ワクチンも積極的に接種したほうが良いと考えています。

日本脳炎を媒介する蚊が多くなる夏に向けて、満3歳まで待つことなく、早めに接種することをお勧めします。

なお、千葉市が実施する定期接種の扱いになるので、無料です。

4種混合ワクチンやB型肝炎ワクチンなど他のワクチンとの同時接種も可能です。

ご希望の方は、ご予約ください。